

錦之丞と民之助

錦

民

文政 3 年 (1820) 9 月 25 日	民之助誕生 (父は将軍徳川家斉、母は側室於系)	—
文政 5 年 (1822) 12 月 28 日	改名 (民之助→千三郎)	—
文政 11 年 (1828) 9 月 2 日	錦之丞誕生 (父は御三卿田安斉匡、母は側室礼以)	—
天保 6 年 (1835) 閏 7 月 11 日	福井藩主松平斉承と養子縁組	—
8 月 28 日	斉承の家督を相続	—
9 月 25 日	引っ越し (江戸城二の丸御殿→福井藩上屋敷)	—
10 月 28 日	元服 (千三郎→ <u>齊善</u> 、正四位下・少将)	—
天保 7 年 (1836) 2 月 5 日	袖留	—
4 月 13 日	前髪執	—
12 月 9 日	先々代治好の娘謹と斉承との養子縁組が決定	—
天保 8 年 (1837) 8 月 11 日	翌年の御暇 (初入国) が決定	—
25 日	昇官 (少将→中将)	—
9 月 16 日	上屋敷 (および常盤橋内屋敷) が焼失	—
10 月 26 日	幕府から金 2 万両の拝借が決定	—
11 月 25 日	伊予国松山藩主松平勝善との養子縁組が決定	—
天保 9 年 (1838) 正月 19 日	備後国福山藩主阿部正弘と対顔	—
3 日	正弘の役勤願に添願	—
22 日	叔母謹姫 (先々代治好の娘で先代斉承の養女) が正弘と婚姻	—
4 月 21 日	将軍家慶に御暇の挨拶	—
閏 4 月 11 日	江戸を出発	—
26 日	福井に到着	—
7 月 5 日	幕府から金 1 万 5 千両の拝借が決定	—
11 日頃	感冒	—
8 月 6 日	西丸奥医師野間玄琢が江戸を出発	—
15 日	玄琢が福井に到着	—
24 日	逝去	—
9 月 2 日	逝去の届が江戸に到着	—
3 日	両者の養子縁組が決定	—
4 日	養子縁組	—
6 日	逝去を 8 月 28 日として再届	—
10 月 20 日	家督相続	—
晦日	昌宮佳子女王 (閑院宮孝仁親王の娘) との縁談を解消	—
11 月 23 日	引っ越し (田安家屋敷→福井藩上屋敷)	—
12 月 11 日	元服 (錦之丞→ <u>慶永</u> 、正四位下・少将)	—